対象校No. 1018 注4

学校コード F139310110556

設置年度 令和 6年度

計画の区分: 大学の設置

注1

注2

健康科学部 リハビリテーション学科 高知健康科学大学

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正後大学設置基準適用)

学校法人土佐リハ学院 令和6年5月1日現在

作成担当者

(夜間)

担当部局 (課) 名 事務局

ジムキョクチョウウエシマ トシユキ 事務局長・上島 寿之 職名・氏名

電話番号 088-866-6119 088-866-6119

e —mail kokendai@ko-ken-k3.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

- () 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

・大学の設置の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」 ・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」

大学院設置の場合:「〇〇大学大学院」

• 大学院の研究科の設置の場合:「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、 当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、 該当番号を記載してください。

目次

健康科学部

<リ	リハビリテーション学科>	^ -	-ジ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	1
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	6
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	16
4.	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	17
5.	教育研究実施組織の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	19
6.	附帯事項等に対する履行状況等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	43
7.	その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	<u> </u>

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

学校法人土佐リハ学院

- (2) 大 学 名 高知健康科学大学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒781-5103 高知県高知市大津乙2500-2

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変更状況	備考
理事長	オオサキ ヒロスミ 大﨑 博澄 平成27年4月1日		
学 長	ミヤグチ ヒデキ 宮口 英樹 _{令和6年4月1日}		
学 部 長	タケバヤシ ヒデアキ 竹林 秀晃 令和6年4月1日		
学科長	タケバヤシ ヒデアキ 竹林 秀晃 _{令和6年4月1日}		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 令和5年度に報告済の内容 → (5) 令和6年度に報告する内容 → (6)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - ・ <u>なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位</u> <u>(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、</u> 別ファイルにて提出してください。
 - ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、
 - 設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、 我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程 を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		学生募集の停	備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	止について	1)#I 15
健康科学部 リハビリテーション学科 学士	保健衛生学関係 (リハビ リテーション関係)	4 年	70 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次	280 人	_	_
				0 人			

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1)又は(その2の2))」の 「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、 「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「一」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	令和:	元年度	令和	2年度	令和:	3 年度	令和	4 年度	令和	5年度	令和 6	6年度	春季入学以外の 学期区分につい	収容定員	収容定員 充 足 率	備	考
区分	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	! その他の学期	春季入学	その他の学期	_	充 足 率	(控除後)	ИĦ	79
A 入学定員	_		_	_				_	_	_	70人 -	_					
A 入学定員	[-	–) –]	[-	–) –]	-)	-) -]	(- [-	-) -]	(- [–) –]	(-	·) -]					
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	— (—)	(-)	_ (_)	_ (_)	_ (_)	(-)	58 (–)	_ (_)					
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[—] 54	[-]	-				
受験者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-)	(-) [-]	_	0.77倍	_	-	_							
		-		-		-		_	_	-	54		-				
合格者数	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	(-)					
B 入学者数	_ (_)	(-)	- (-)	(-)	_ (_)	_ (_)	_ (_)	_ (_)	_ (_)	- (-)	54	_ (_)					
5 // I.w	[-]	[–]	[-]	[–]	(– j	[-]	(– j	(– j	(– j	(– j	[–]	(– j					
入学定員超過率 B/A		_		_	-	_	-	_		_	0.	77					

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「一」を記入してください。
 - ・ ()内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、
 - (())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
 - 転入学生は記入しないでください。
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)

に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。

- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。
- なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ **報**古年度に春<mark>全人子以外の子期区分の設定を</mark>ア定している場合は、「春全人子以外の子期区分にしいて」で「春全人子以外の子期区分を設けるア疋」を選択してくにさ
- ,。 (春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「一」を選択。)
 - ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)Ⅳ 33収容定員の充足状況」をご確認ください。

なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。また、完成年度を越えて

報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。

- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」 第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「一」としてください。
- ・ 「(5)-② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、
- 「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象	年度	令和元	元年度	令和:	2年度	令和:	3 年度	令和 4	4年度	令和!	5年度	令和(6年度		考
学年		春季入学	その他の学期	VĦ	75										
		-	_	_	_	_	_	_	_	_	_	54	_		
1 年次		[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
				_	_	_	_	_	_	_	_	_	_		
2 年次				[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
				(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(–)	(-)	(–)		
						_	_	_	_	_	_	_	_		
3 年次				/		[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	_	
						(–)	(-)	(–)	(–)	(–)	(–)	(–)	(–)		
								_	_	_	_	_	_		
4 年次				/				-	[-]	[-]	[-]	_	[-]		
								(-)	(–)	(-)	(–)	, ,	(-)		
=1		-	- ,	-	- ,	-	- ,	-	- ,	-	-	-	54		
計			_ `	L	_	L	_]	_	_]	L	_]	L	_]		
		(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)		

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について、内数で記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・()内には、<u>留年者の状況について、**内数で**記入</u>してください。<u>該当がない年度には「一」を記入</u>してください。
 - ・編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)
 - に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入</u>してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分				内訳		
	在学者数(b)	退学者数(a)			:者数	主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
対象年度			入学した年度		うち留学生数	(m 1 ± 9-±mlot) = 0
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	-
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	-
节和2千度	^	^	令和2年度	- 人	- 人	-
			令和元年度	- 人	- 人	-
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	-
			令和3年度	- 人	- 人	-
			令和元年度	- 人	- 人	-
令和4年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	-
			令和3年度	- 人	- 人	-
			令和4年度	- 人	- 人	-
			令和元年度	- 人	- 人	-
			令和2年度	- 人	- 人	-
令和5年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	_
			令和4年度	- 人	- 人	-
			令和5年度	- 人	- 人	_
			令和元年度	- 人	- 人	_
			令和2年度	- 人	- 人	_
令和6年度	54 人	0 人	令和3年度	- 人	- 人	_
が出る干皮	J. X		令和4年度	- 人	- 人	-
			令和5年度	- 人	- 人	-
			令和6年度	- 人	- 人	-
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。<u>(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)</u>
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には<u>編入学生や転入学生も含めて記入</u>してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学カ不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他
- (5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】	
<u>令和元年度の退学者数(a)</u> = <u>-</u> = 令和元年度の在学者数(b) = -	- %
【令和2年度】	
令和2年度の退学者数(a) = - = - = - = - = - = - = - = - = - =	- %
【令和3年度】	
令和3年度の退学者数(a) = - = - = - = - = - = - = - = - = - =	- %
【令和4年度】	
<u>令和4年度の退学者数(a)</u> = <u>-</u> = - = - = -	- %
【令和5年度】	
<u>令和5年度の退学者数(a)</u> = <u>-</u> = - = -	- %
【令和6年度】	
<u> 令和6年度の退学者数(a)</u> = <u>0</u> = <u>0</u> = 54	0 %

(注) · <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

2 授業科目の概要

<健康科学部 リハビリテーション学科>

(1)一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

51 F		配业	主要		单位数				員等			を教
科目 区分	授業科目の名称	当年	土安 授業 科目	必	選	自	教	准教	講	助	助	除員くへ
		次	科日	修	択	由	授	投授	師	教	手	助手
	ラーニングリテラシー	1前		1			6	4	2	3		
	情報リテラシー	1前		1			1		_	2		兼
	初年次IPE演習 人間科学概論	1前		1 2			6	4	2	3		兼
	心理学	1前 1後		2								未兼
	生命倫理学	1前		_	1							兼
	医療人類学	1後			1							兼
	社会学概論	1前		2								兼
教	情報と社会	1後		1								兼
孜養	法律と社会	1後			1							兼
基	教育と社会	1後			1							兼
礎科	データサイエンス	3前		2								兼
Ħ	災害と共に生きる	1前		1								兼
	ライフサイエンス生物学	1前			1							兼
	バイオメカニクス	1後			1		1					["
	基礎英語	1前		2				1				ĺ
	コミュニケーション論	1前		1								兼
	コミュニケーション英語	1後			1							兼
	異文化コミュニケーション(中国語)	1後			1							兼
	スポーツ実践	1前		2			L	L	L			兼
	小計(20科目)		_	18	8	0	14	9	4	8	0	兼
	解剖学I	1前	0	2								兼
	解剖学Ⅱ	1後	0	2								兼
	骨学筋学I	1前		1				1				兼
	骨学筋学Ⅱ	1後		1				1				兼
	体表解剖学	2前		1				1				
	組織学	2後	_	1								兼
	生理学I	1前	0	2			1					
	生理学Ⅱ	1後	0	2			1					
	生理学演習I	1前		1			1		2	2		
	生理学演習Ⅱ	1後		1			1		2	2		
	応用解剖生理学	3後		1			1	1				
	身体運動学I	1前	0	2			1		1			兼
	身体運動学II	1後	0	2			1		1			兼
	運動生理学	2前		2								兼
	人間発達学	1前		2			1					
専	脳科学概論	2後		2								兼
門甘	医学英語	2前		1				1				
基礎	リハビリテーション医学	1後		1								兼
科	病理学	1後		2								兼
目	内科学	2前		2								兼
	神経内科学	2後		2								兼
	整形外科学	2前		2								兼
	精神医学	2前		2								兼
	小児科学	2後		2								兼
	臨床心理学	2後		2								兼
	臨床栄養学	3前		1								兼
	臨床薬理学	3前		1								兼
	救急救命処置演習	3後		1								兼
	リハビリテーション概論	1前	0	1			1					兼
	健康科学概論	2前		2			2					
	社会福祉学概論	2後		2								兼
	災害リハビリテーション	3後		1								兼
	国際リハビリテーション学	4前		1			6	2				
	福祉住環境論	3前		1								兼
	小計(34科目)	-	_	52	0	0	17	7	6	4	0	兼

【令和6年度】

科目		配当	主要	必	単位数 上選	自	教	上幹教 准	₹ は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	の配助	置 助	の基 を教幹 除員教	科目		配当	主要授業	必	単位数	自	教		幹教 准	員等講	の配動	置助	を装除す
区分	授業科目の名称	年次	授業科目	修	进択	由由		教授	師	教	り手	は く い 助 手 り り り り り り り り り り り り り り り り り り	区分		当年次	授業 科目	修	进択	曲			准教授	師	数	助手	く () 見
	ラーニングリテラシー	1前		1	101	Ш	6	4	2	3	T_		F	ラーニングリテラシー	1前	<u> </u>	1	101		6	_	4	2	3		<u> </u>
	情報リテラシー	1前		1			1			2		兼2		情報リテラシー	1前		1			1				2		兼
	初年次IPE演習	1前		1			6	4	2	3				初年次IPE演習	1前		1			6	1	4	2	3		
	人間科学概論	1前		2								兼1		人間科学概論	1前		2									兼
	心理学	1後		2								兼1		心理学 生命倫理学	1後		2									#
	生命倫理学	1前			1							兼1			1前			1								兼
	医療人類学	1後		_	1							兼1		医療人類学	1後		_	1								兼
	社会学概論	1前		2								兼1		社会学概論	1前		2									兼
教	情報と社会	1後		1								兼1	教	情報と社会	1後		1									兼
養基	法律と社会	1後			1							兼1	養	法律と社会	1後			1								兼
礎	教育と社会	1後		_	1							兼1	基科	教育と社会	1後			1								兼
-	データサイエンス	3前		2								兼1	目	データサイエンス	3前		2									兼
	災害と共に生きる	1前		1								兼1		災害と共に生きる	1前		1									兼
	ライフサイエンス生物学	1前			1		١.					兼1		ライフサイエンス生物学	1前			1								兼
	バイオメカニクス	1後			1		1							バイオメカニクス	1後			1		1						
	基礎英語	1前		2				1						基礎英語	1前		2					1				١.,
	コミュニケーション論	1前		1								兼2		コミュニケーション論	1前		1									兼
	コミュニケーション英語	1後			1							兼2		コミュニケーション英語	1後			1								兼
	異文化コミュニケーション(中国語) スポーツ実践	1後 1前		2	1							兼1 兼1		異文化コミュニケーション(中国語) スポーツ実践	1後 1前		2	1								兼 兼
	小計(20科目)	- 1	-	18	8	0	14	9	4	8	0	兼19		小計(20科目)	- 1	-	18	8	0	1.	4	9	4	8	0	*
	解剖学I	1前	0	2								兼1		解剖学I	1前	0	2									兼
	解剖学II	1後	0	2								兼1		解剖学Ⅱ	1後	0	2									兼
	骨学筋学I	1前		1				1				兼1		骨学筋学I	1前		1					1				兼
	骨学筋学Ⅱ	1後		1				1				兼1		骨学筋学Ⅱ	1後		1					1				身
	体表解剖学	2前		1				1						体表解剖学	2前		1					1				
	組織学	2後		1								兼1		組織学	2後		1									兼
	生理学I	1前	0	2			1							生理学I	1前	0	2			1						
	生理学Ⅱ	1後	0	2			1							生理学Ⅱ	1後	0	2			1						
	生理学演習I	1前		1			1		2	2				生理学演習I	1前		1			1			2	2		
	生理学演習II	1後		1			1		2	2				生理学演習Ⅱ	1後		1			1			2	2		
	応用解剖生理学	3後		1			1	1						応用解剖生理学	3後		1			1		1				
	身体運動学I	1前	0	2			1		1			兼1		身体運動学I	1前	0	2			1			1			兼
	身体運動学II	1後	0	2			1		1			兼1		身体運動学Ⅱ	1後	0	2			1			1			兼
	運動生理学	2前		2								兼1		運動生理学	2前		2									兼
	人間発達学	1前		2			1							人間発達学	1前		2			1						
専	脳科学概論	2後		2								兼1	車	脳科学概論	2後		2									兼
	医学英語	2前		1				1					門	医学英語	2前		1					1				
基	リハビリテーション医学	1後		1								兼1	基	リハビリテーション医学	1後		1									兼
礎 科	病理学	1後		2								兼1	礎科	病理学	1後		2									兼
	内科学	2前		2								兼3	目	内科学	2前		2									兼
	神経内科学	2後		2								兼1		神経内科学	2後		2									身
	整形外科学	2前		2								兼2		整形外科学	2前		2									身
	精神医学	2前		2								兼4		精神医学	2前		2									兼
	小児科学	2後		2								兼1		小児科学	2後		2									身
	臨床心理学	2後		2								兼1		臨床心理学	2後		2									· 身
	臨床栄養学	3前		1								兼1		臨床栄養学	3前		1									身
	臨床薬理学	3前		1								兼1		臨床薬理学	3前		1									· 身
	救急救命処置演習	3後		1								兼1		救急救命処置演習	3後		1									身
	リハビリテーション概論	1前		1			1					兼1		リハビリテーション概論	1前		1			1						オ ま
	健康科学概論	2前		2			2		Ī			ж.		健康科学概論	2前	ľ	2			2						1
		2街		2			 		Ī			兼1			2後		2			'						ŧ
	社会福祉学概論 ※実リハビリテーション								Ī					社会福祉学概論						1						
	災害リハビリテーション	3後		1			_	_	Ī			兼2		災害リハビリテーション	3後		1			1.						ŧ
	国際リハビリテーション学	4前		1			6	2				*		国際リハビリテーション学	4前		1			6	'	2				ـ ا
	福祉住環境論	3前		1	_	_	-	<u> </u>	_		<u> </u>	兼2		福祉住環境論	3前	<u> </u>	1	_	ļ .	1	4	_				
	小計(34科目)	-	-	52	0	0	17	7	6	4	0	兼32		小計(34科目)	-	匸	52	0	0	1	/	7	6	4	0	兼

日本日	教授112111111111	准教授 1 1 2	講 師	助 教 1 1 1 1	助手	を除く)教員(助手幹教員以外
### 1	1 1 2 1	授 1 1 1	師	1	手	
 運動分析学[※] 理学療法管理学 理学療法教育学 理学療法評価学 理学療法評価学 理学療法評価学実習 形態評価学実習 お機能評価学実習 神経機能評価学実習 生理機能評価学実習 3前 1 	1 2 1	1		1		
理学療法管理学 4前 1 理学療法教育学 3後 1 理学療法評価学 1後 ○ 1 理学療法評価学実習 2後 1 形態評価学実習 1後 1 筋機能評価学実習 2前 1 神経機能評価学実習 2前 1 生理機能評価学実習 3前 1	2 1 1 1 1 1	1		1		
理学療法教育学 3後 1 理学療法評価学 1後 ○ 1 理学療法評価学実習 2後 1 形態評価学実習 1後 1 防機能評価学実習 2前 1 神経機能評価学実習 2前 1 生理機能評価学実習 3前 1	1 1 1 1	1				
理学療法評価学 1後 ○ 1 理学療法評価学実習 2後 1 形態評価学実習 1後 1 筋機能評価学実習 2前 1 神経機能評価学実習 2前 1 生理機能評価学実習 3前 1	1 1 1	1				
理学療法評価学実習 2後 形態評価学実習 1後 筋機能評価学実習 2前 神経機能評価学実習 2前 生理機能評価学実習 3前 1	1	1				
形態評価学実習 1後 1 1	1	1				
筋機能評価学実習 2前 1神経機能評価学実習 2前 1生理機能評価学実習 3前 1	1			'		
神経機能評価学実習 2前 1 生理機能評価学実習 3前 1	1	_				
生理機能評価学実習 3前 1	1			1		
	1			1		
運動療法学 2前 ○ 1 1	1					
運動療法学実習 2後 1				1		
専門 物理療法学 2前 ○ 1	1					
科 物理療法学実習 2後 1	1	1				
目 日常生活活動学 2前 1						兼1
理 日常生活活動学実習 2後 1						兼1
学 装具学 2後 1	1			1		
療 法 (養肢学) 3前 1	1					
学 神経理学療法学Ⅰ 2前 ○ 1	1					
専 神経理学療法学II 2後 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1					
神経理学療法学実習 3前 1 1	1			1		
運動器理学療法学Ⅰ 2前 ○ 1		1				
運動器理学療法学II 2後 1		1				
運動器理学療法学実習 3前 1	١.	1				
スポーツ理学療法学 3後 1	1					
小児理学療法学 3後 1	1					兼1
呼吸器理学療法学 3前 0 1 1 循環器理学療法学 3後 0 1	1					兼1
循環器理学療法学 3後 ○ 1 代謝理学療法学 3後 1				1		
地域リハビリテーション学 2後 〇 1	1			'		兼1
地域理学療法学 3後 1	l '					兼2
多職種連携教育 3後 1	2					N/L
小計(32科目) 32 0 0	24	9	0	9	0	兼7
作業療法学概論 1前 〇 1	1					
基礎作業学 1後 1						兼1
基礎作業学実習 2前 1			1			兼1
作業分析学 2前 1	1		1			
作業療法管理学 4前 1	1	1				
作業療法教育学 3後 1		1				
作業療法評価学 1後 〇 1			1			
作業療法評価学実習 2後 1			1			兼1
身体機能評価学実習 1後 1				1		兼1
精神機能評価学実習 2前 1	1		1			
門 神経機能評価子美音 2月1 1		1	1			
科 発達機能評価学実習 2後 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1					
○ 自任機能促進症は出現 0.3%		1				**
作 身体機能作業療法学 2後 1 2後 2前 2前						兼1
業 身体機能作業療法学実習 3前 1 療 2 2 2 4 1	1	1	1			兼1
法 高次脳機能作業療法学 21後	,					兼1
学 精神機能作業療法学I 2前 ○ 1 専 精神機能作業療法学II 2後 1	1					
攻 精神機能作業療法学実習 3前 1	'					
運動器作業療法学 3前 1	1			1		
高齢期作業療法学 3後 1	'		1	1		
発達過程作業療法学 3前 〇 1	1		•	•		
発達過程作業療法学実習 3後 1	1					兼1
内部機能作業療法学 3後 1	1					兼1
日常生活活動学 2後 1				1		
日常生活活動学実習 3前 1	1			1		
義肢装具学 3前 1						兼1
生活行為向上マネジメント演習 2後 1				1		兼1
職業関連活動学 3後 1	3			1		

		配		į	单位数	女	基	幹教	員等	の配	置	の基
科目	授業科目の名称	当年	主要授業	必	選	自	教	准	講	助	助	を教幹 除員教 く(員
区分		次	科目	修	択	由	授	教授	師	教	手) 助以 手外
	理学療法学概論	1前	0	1	1)(Д	1	IX	ılı	狄	丁	
	運動分析学【※】	2後		1			1			1		
	理学療法管理学	4前		1			2			l '		
	理学療法教育学	3後		1			1					
	理学療法評価学	1後	0	1			'	1				
	理学療法評価学実習	-										
		2後		1				1		1		
	形態評価学実習	1後		1				1		1		
	筋機能評価学実習	2前		1				2		١.		
	神経機能評価学実習	2前		1			1			1		
	生理機能評価学実習	3前		1			1			1		
	運動療法学	2前	0	1			1					
=	運動療法学実習	2後		1			1			1		
専門	物理療法学	2前	0	1			1					
科	物理療法学実習	2後		1			1	1				
目	日常生活活動学	2前		1								兼1
理	日常生活活動学実習	2後		1								兼1
学	装具学	2後		1			1			1		
療	義肢学	3前		1			1					
法学	神経理学療法学I	2前	0	1			1					
専	神経理学療法学Ⅱ	2後		1			1					
攻	神経理学療法学実習	3前		1			1			1		
\smile							l '	,		'		
	運動器理学療法学I	2前	0	1				1				
	運動器理学療法学II	2後		1				1				
	運動器理学療法学実習	3前		1				1				
	スポーツ理学療法学	3後		1			1					
	小児理学療法学	3後		1			1					兼1
	呼吸器理学療法学	3前	0	1			1					兼1
	循環器理学療法学	3後	0	1			1					
	代謝理学療法学	3後		1			1			1		
	地域リハビリテーション学	2後	0	1			1					兼1
	地域理学療法学	3後		1								兼2
	多職種連携教育	3後		1			2					762
		り仮			0	0		9	0	9	0	並 7
-	小計(32科目)		_	32	0	U	24	9	U	9	0	兼7
	作業療法学概論	1前	0	1			1					**
	基礎作業学	1後		1								兼1
	基礎作業学実習	2前		1					1			兼1
	作業分析学	2前		1			1		1			
	作業療法管理学	4前		1			1	1				
	作業療法教育学	3後		1				1				
	作業療法評価学	1後	0	1					1			
	作業療法評価学実習	2後		1					1			兼1
	身体機能評価学実習	1後		1						1		兼1
	精神機能評価学実習	2前		1			1		1			
専	神経機能評価学実習	2前		1			l	1	1			
門								'	'			
科目	発達機能評価学実習	2後	_	1			1					
	身体機能作業療法学I	2前	0	1				1				
作	身体機能作業療法学Ⅱ	2後		1								兼1
業	身体機能作業療法学実習	3前		1			1	1	1			兼1
療法	高次脳機能作業療法学	2後		1								兼1
学	精神機能作業療法学I	2前	0	1			1					
専	精神機能作業療法学II	2後		1			1					
攻	精神機能作業療法学実習	3前		1			1					
Ĭ	運動器作業療法学	3前		1			1			1		
	高齢期作業療法学	3後		1					1	'		
Ī	帝郎·朔丁F·朱欣広子 発達過程作業療法学	3前	0	1			1		'	'		
												* 4
	発達過程作業療法学実習	3後		1			1					兼1
	内部機能作業療法学	3後		1			1					兼1
Ī	日常生活活動学	2後		1						1		
	日常生活活動学実習	3前		1			1			1		
	義肢装具学	3前		1								兼1
	生活行為向上マネジメント演	2後		1						1		兼1
L	職業関連活動学	3後		1			3			1		

		Z 7		į	单位数	汝	身	. 幹教	員等	の配	置	の基
	授業科目の名称	部 当	主要授業	必	選	自	教	准	講	助	助	を教幹除員教
	XXIII	年次	科目		10		1777	教		+/L	_	く (助手外
-	地域リハビリテーション学	2後	0	<u>修</u>	択	由	<u>授</u>	授	師	教	手	兼1
4±	地域作業療法学	3後	O	1			'					兼2
続き	多職種連携教育	3後		1			2					ж2
	小計(32科目)	31友		32	0	0	20	5	8	7	0	兼14
	がまて(32付日) 筋骨格系リハビリテーション	280	_	32	1	U	1	1	0		U	来14
		3前					-	'				
	認知のリハビリテーション	3前 3前			1		2	2				兼1
専	痛みのサイエンス 予防リハビリテーション				1		1	2		1		ボロ
門		3前 3後								'		
科目	ニューロサイエンス				1		1					
$\widehat{}$	スポーツサイエンス	3後			1		2					
両専	ヘルスプロモーション	3後			1		1			١.		** 4
攻	がんリハビリテーション	3後			1		_			1		兼1
\smile	社会自立支援技法	3前			1		2		1	1		
	児童発達支援技法	3前			1		2	1	1	_		
	地域社会支援技法	3前		_	1	_	1	1	_	2	_	#0
	小計(11科目)	- 044	_	0	11	0	13	5	2	5	0	兼2
	臨床技能演習!	3後		1			4	3		2		
	臨床技能演習Ⅱ	4前		1			4	3		2		
総	早期臨床体験実習	1通	_	1			3	3		2		
合科	理学療法臨床評価実習	2後	0	3			3	3		2		
目	理学療法臨床総合実習Ⅰ	3後	0	6			4	3		2		
理	理学療法臨床総合実習Ⅱ	4前	0	14			4	3		2		
学	理学療法地域実習	4前		1			4	3		2		·
療	理学療法特論I	3通		1			1					兼1
法学	理学療法特論II	4通		1								兼2
専	理学療法総合演習	4後	_	2			7	3		2		
攻	理学療法研究法	3前	0	1			3	2				
	理学療法セミナー	3前	_	1			7	3		2		
	卒業研究	4通	0	3			7	3		2		
	小計(13科目)	-	-	36	0	0	51	32	0	20	0	兼3
	臨床技能演習I	3後		1			3	1	2	1		
	臨床技能演習Ⅱ	4前		1			3	1	2	1		
総	早期臨床体験実習	1通		1			1	1	2	1		
合科	作業療法臨床評価実習	2後	0	3			2	1	2	1		
目	作業療法臨床総合実習I	3後	0	6			3	1	2	1		
作	作業療法臨床総合実習II	4前	0	14			3	1	2	1		
業	作業療法地域実習	4前		1			3	1	2	1		
療	作業療法特論I	3通		1								兼2
法学	作業療法特論II	4通		1								兼2
専	作業療法総合演習	4後		2			5	1	2	1		
攻	作業療法研究法	3前	0	1			3	1	2			
$\overline{}$	作業療法セミナー	3前		1			5	1	2	1		
	卒業研究	4通	0	3			5	1	2	1		
<u> </u>	小計(13科目)	-	-	36	0	0	36	11	22	10	0	兼4
	合計(155科目)	-		206	19	0	175	78	42	63	0	兼81
			→ ₩ π	# /d. TT	マットラム	6- J- VI						

卒業要件及び履修方法

↑マールスナマスァ ①教養基礎科目「初年次科目」「人間の探求」「社会の探求」「自然の探求」「言語の探求」「保健 (水育」の全20科目26単位から必修18単位を含む22単位以上を履修、選択科目は「人間の探求」 「社会の探求」「自然の探求」「言語の探求」の8科目8単位からそれぞれ1単位以上修得する。 ②専門基礎科目「リハビリテーション基礎医学」「臨床医学」「保健医療福祉」の必修34科目52単

四と修行する。 ③専門科目では、「基礎理学療法」「理学療法評価学」「理学療法治療学」「地域理学療法」の必 修32科目32単位、「発展科目A」選択3科目3単位から4科目4単位、「発展科目B」選択3科目3単 位から1単位修得、計37単位を修得する。

4級合科目「理学療法臨床実習」「理学療法統合科目」「理学療法研究」の必修13科目36単位を

修得する。 ⑤卒業要件単位数は、合計147単位以上を修得する。

ジャスタバチに対応されている。 く作業療法学専攻> ①教養基礎科目「初年次科目」「人間の探求」「社会の探求」「自然の探求」「言語の探求」「保健 体育」の全20科目26単位から必修18単位を含む22単位以上を履修、選択科目は「人間の探求」 「社会の探求」「自然の探求」「言語の探求」の8科目8単位からそれぞれ1単位以上修得する。 ②専門基礎科目「リハビリテーション基礎医学」「臨床医学」「保健医療福祉」の必修34科目52単 位を修得する。

③専門科目では、「基礎作業療法」「作業療法評価学」「作業療法治療学」「地域作業療法」の必 修32科目32単位を修得する。「発展科目A」選択8科目8単位から4科目4単位、「発展科目B」選 択3科目3単位から1単位修得、計37単位を修得する。

④総合科目「作業療法臨床実習」「作業療法統合科目」「作業療法研究」の必修13科目36単位を 修得する

5 京本業要件単位数は、合計147単位以上を修得する。

		配		į	単位数	女	基	幹教	員等	の配	置	の基 を教幹
	授業科目の名称	当年	主要 授業	必	選	自	教	准	講	助	助	を員教 くへ員
		次	科目	修	択	由	授	教授	師	教	手)助以 手外
	地域リハビリテーション学	2後	0	1	ν.	ш	1	1,0	нір	72	•	兼1
続	地域作業療法学	3後		1								兼2
き	多職種連携教育	3後		1			2					
	小計(32科目)	-	_	32	0	0	20	5	8	7	0	兼14
	筋骨格系リハビリテーション	3前			1		1	1				
	認知のリハビリテーション	3前			1		2					
	痛みのサイエンス	3前			1			2				兼1
専	予防リハビリテーション	3前			1		1			1		
門科	ニューロサイエンス	3後			1		1					
目	スポーツサイエンス	3後			1		2					
両	ヘルスプロモーション	3後			1		1					
専	がんリハビリテーション	3後			1					1		兼1
攻	社会自立支援技法	3前			1		2		1	1		
	児童発達支援技法	3前			1		2	1	1			
	地域社会支援技法	3前			1		1	1		2		
	小計(11科目)	-	-	0	11	0	13	5	2	5	0	兼2
	臨床技能演習I	3後		1			4	3		2		
	臨床技能演習Ⅱ	4前		1			4	3		2		
総	早期臨床体験実習	1通		1			3	3		2		
合	理学療法臨床評価実習	2後	0	3			3	3		2		
科目	理学療法臨床総合実習I	3後	0	6			4	3		2		
о О	理学療法臨床総合実習II	4前	0	14			4	3		2		
理学	理学療法地域実習	4前		1			4	3		2		
子療	理学療法特論I	3通		1			1					兼1
法	理学療法特論Ⅱ	4通		1								兼2
学専	理学療法総合演習	4後		2			7	3		2		
攻	理学療法研究法	3前	0	1			3	2				
$\overline{}$	理学療法セミナー	3前		1			7	3		2		
	卒業研究	4通	0	3			7	3		2		
	小計(13科目)	_	-	36	0	0	51	32	0	20	0	兼3
	臨床技能演習!	3後		1			3	1	2	1		
	臨床技能演習Ⅱ	4前		1			3	1	2	1		
総	早期臨床体験実習	1通		1			1	1	2	1		
合	作業療法臨床評価実習	2後	0	3			2	1	2	1		
科目	作業療法臨床総合実習Ⅰ	3後	0	6			3	1	2	1		
^	作業療法臨床総合実習II	4前	0	14			3	1	2	1		
作業	作業療法地域実習	4前		1			3	1	2	1		
療	作業療法特論I	3通		1								兼2
法学	作業療法特論II	4通		1								兼2
専	作業療法総合演習	4後		2			5	1	2	1		
攻	作業療法研究法	3前	0	1			3	1	2			
$\overline{}$	作業療法セミナー	3前		1			5	1	2	1		
	卒業研究	4通	0	3			5	1	2	1		
	小計(13科目)	-	-	36	0	0	36	11	22	10	0	兼4
	合計(155科目)	-		206	19	0	175	78	42	63	0	兼83

卒業要件及び履修方法

育」の全20科目26単位から必修18単位を含む22単位以上を履修、選択科目は「人間の探求」「社会の探求」「自然の探求」「言語の探求」の8科目8単位からそれぞれ1単位以上修得する。 ②専門基礎科目「リハビリテーション基礎医学」「臨床医学」「保健医療福祉」の必修34科目52単

②専門基礎科目リハビリテーション基礎医学」「臨床医学」「保健医療福祉」の必修34科目52単位を修得する。
③専門科目では、「基礎理学療法」「理学療法評価学」「理学療法治療学」「地域理学療法」の必修32科目32単位、「発展科目A」選択8科目8単位から4科目4単位、「発展科目B」選択3科目3単位から1単位修得、計37単位を修得する。

④総合科目「理学療法臨床実習」「理学療法統合科目」「理学療法研究」の必修13科目36単位を

④総合科目「理学療法臨床実省」「理学療法統合科目」「理学療法研究」の必修13科目36単位を 修得する。⑤卒業要件単位数は、合計147単位以上を修得する。〈作業療法学専攻〉①教養基礎科目「初年次科目」「人間の探求」「社会の探求」「自然の探求」「言語の探求」「保健体 育」の全20科目26単位から必修18単位を含む22単位以上を履修、選択科目は「人間の探求」「社会の探求」「自然の探求」「言語の探求」の8科目8単位からそれぞれ1単位以上修得する。

②専門基礎科目「リハビリテーション基礎医学」「臨床医学」「保健医療福祉」の必修34科目52単位を修得する。

④総合科目「作業療法臨床実習」「作業療法統合科目」「作業療法研究」の必修13科目36単位を

修得する

5 京本業要件単位数は、合計147単位以上を修得する。

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、

改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください
- 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、

「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。

「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は 「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼担教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。 その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は<u>太</u>宇の赤宇**としてください。 なお、<u>設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合</u>、

「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員

<u>(助手を除く)」欄は「兼任・兼担」</u>としてください。その上で、各年度については、<u>「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の</u> <u>専攻の場合は「専任教員」)」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所</u>

「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)」数は、 <u>認可時又は届出時の「兼任・兼担」数との比較において変更となっている箇所を**太字の赤字**とし</u>てください。

(専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)

- 履修希望者がいなかったために<u>未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入</u>してください。
- 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、 「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、 「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。 その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。 新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。 (例:記載順) 【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)→【令和5年度】(旧)

(1) -②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

心理学(教養基礎科目)の教員(兼任)数を1名から3名に変更。(それに伴い、合計数も81→83に変更)。就任承諾書添付(2名分)

- (注)・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、 主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。
 - 主要授業科目の変更、授業科目の必要、新規科目の追加など)を固定書きで記入してください。 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準(令和4年10月1日施行)の 適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合(例:「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更)や、 兼任・兼担教員から基幹教員以外の教員に変更した場合 (例:「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更)については、 記入しないでください。

 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。 ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

教 員 就 任 承 諾 書

令和 6 年 5 月 23 日

学校法人 土佐リハ学院 理事長 大 﨑 博 澄

照 島根大輔.

私は、高知健康科学大学 健康科学部リハビリテーション学科の兼任の教員として、 令和6年10月1日から就任し、下記の科目を担当することを承諾します。

記

担当科目名 心理学

以上

教 員 就 任 承 諾 書

令和 6 年 5 月 20 日

学校法人 土佐リハ学院 理事長 大 﨑 博 澄

氏名 伊﨑 翼

私は、高知健康科学大学 健康科学部リハビリテーション学科の兼任の教員として、 令和6年10月1日から就任し、下記の科目を担当することを承諾します。

記

担当科目名 心理学

以上

(2) 授業科目数

	設置時	の計画			変更	状況		備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	州 ち
91 科目	19 科目	0 科目	110 科目	91 科目 [一]	19 科目 [一]	0 科目 [一]	110 科目 [一]	-

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)
 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし		

(注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。 (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計	_	0	_	0	%
設置時の計画の授業科目数の計(A)	_	110	_	Ů	70

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区	分				内				容	7			仿	備考	
(1)	[2	5 分		専	用	共	用		も用する 学校等の			計				
校	校	舎敷は	<u>t</u>		14904.00 m ²		0	m²	0 m²			14904	1.00 m²			
地	7	の他	į		5886. 78 m²		m²		0 r	'n	5886. 78 m²					
等	台	計	-		20790. 78 m²		0	m²		0 r	'n	20790. 78 m²				
				専	用	共	用		≒用する 学校等の			計				
(2) 校		舎			8066. 23 m²		0	m²		0 r	'n	8066	6. 23 m²			
				(7387. 23 m °)		(0 n	า๋)	((0 m²)	1	(7387. 2	23 m²)			
(3)教室	室・教員	研究室		教	室		24	室	教員研?	究室			圣 大学全体			
	新設章	空部等		図 書			学術雑誌					機械・器具		標	本	
(4)	かlix - の1		〔う	ち外国書〕		電子図書		 国書]		ジャーナ						
-					冊〔うちタ					ち外国書		点				点
図書	大学	全体		3, 700 (46)		50 (10)		30 (5)		11 (1		1, 500		65		
• 記			(8	3, 331 (40)) (28 (0))	((26 (5))		(11 (1))) (1, 319)		(60)	
備	į	+		()		()		()	()							
			(()		[])	([])	((]) (•		()	
(5)	スポーツ	施設等		スポー	ツ施設 ————		講	堂				生補導施設				
						m²			m ²				m ²			
>	経費	:	<u>×</u>	分	開設年度	完成年				前年度	開設年		年度			
(6) 経費の	の見積り	-		り研究費等 200千円		200-		講入費		00千円	1, 000-		千円			
種質の積り及維持方	び	共 同	1	究 費 等 1,000千円			1,000千円 設備購			79千円		3,139千円 1,29				
の概	要 学生	第1年 第1年 納付金			第2年次		3 年次	第4年		第5年次						
				1,480千円	1, 240∃		1,240千円		240千円	_	千円	_	千円			
	学	生納付金	以外の	維持方法の	既要 収益事	業収入・執	推収入・寄降	金等								

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。 (複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び 「(2)校舎」は大学全体の数字を、<u>その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)</u>
 - ・ 「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ <u>昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正</u>するとともに、 <u>その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入</u>してください。

なお、昨年度の報告において<mark>赤字で見え消し</mark>した部分については、<u>見え消しのまま黒字にしてください</u>。

- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
- ・ 高等専門学校については「(3)教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
- ・ 国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	高知健	知健康科学大学 ***********************************								収容定員充足 率0.7倍以下の 学科数	-	収容定員充足 率1.15倍以上 の学科数	-		
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定員	収容 定員	学位又 は称号	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)		定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所在地		備	考	
	年	人	年次	人		倍		倍	年度	年度					
			Α												
<u>健康科学部</u>															
<u>リハビリテーション学科</u>															
<u>理学療法学専攻</u>	4	35	0	140	学士 (理学療法 学)	0. 77	-		-	令和6	高知県高知市大津乙2500 - 2				
<u>作業療法学専攻</u>	4	35	0	140	学士	0. 77	-		-	令和6	同上				
					学)										
大学全体	4	70	0	280	-	0.77	-		-	-	-				

- (注)・本調査の対象となっている大学短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の (短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 - なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 - ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、
 - 「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「一」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、<u>必ず下線を引いてください</u>。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 - 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和も7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」 第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「一」としてください。
 - ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。 また、<u>0.7倍以下又は1.15倍以上の**学科**については、**必ず太字にしてください**。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。</u>
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<健康科学部 リハビリテーション学科>

(1) 一① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		宮口 英樹 (61) <令和6年4月> 博士(保健学) ラーニングリテラシー 初年次IPE演習
· 專	教授	初年次IFC 関音 健康科学概論 国際リハビリテーション学 作業療法学概論 社会自立支援技法 作業療法総合演習 作業療法セミナー <u>卒業研究</u>
		竹林 秀晃 (49) <令和6年4月> 博士(医学)
專	教授	ラーニングリテラシー 情報リアラション学 明年次IPE演習 国際リアビッチ 理学療法学 運動療法学 運動療法学と 運動域リハビリテーション 地域リハビリテーション 地域リハビリテーション 地域リカーション 地域学療法研究 地域学療法で 理学療法で 理学療法 理学療法 理学療法 理学療法 理学療法 理学療法 理学療法 理学療法

【令和6年度】

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	宮口 英樹 (62) <令和6年4月> 博士(保健学) ラーニングリテラシー 初年次IPE演習 健康科学概論 国際リハビリテーション学
		性業療法学概論 社会自立支援技法 作業療法総合演習 作業療法セミナー <u>卒業研究</u>
		竹林 秀晃 (49) <令和6年4月> 博士(医学)
専	教授	ラーニングリテラシー 情報リテラション学 国際リテーション学 理学療法学 運動療法学 運動療法学 運動療法学 運動療法学 運動療法学 運動療法学リテーション学 予防リハビリテーション 地域リアーション 地域対別を表終の 理学療法 理学療法 理学療法 理学療法 理学療法 理学療法 理学療法 理学療法

専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専	教授	様 (49) 4 月)
ቀ	教授	川付(67) (67) (67) (67) (67) (67) (67) (67)

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	模(49) <有年4月) 「有年4月) 「有年4月) 「有年4月) 「有年4月) 「有年4月) 「一次オリアでは、アールのでは
ቀ	教授	川村(67) <令年4月) 「一年年学) 「一年年学) 「一年年学) 「一年年」 「中年」 「中年」 「中年」 「中年」 「中年」 「中年」 「中年」 「

ナル		1					
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等					
		担当授業科目名					
専	教授	大重 (65) 大重 (65) 〈令和8年4月〉 博士 (7年) 生理機能評価法学 近環器理学療法学 近環器理学療法学 代謝理学療法学 代謝理学療法等 代謝理学療法等 政路理学療法等 大郎 下技能演習 I 理学療法臨床総合実習 I 理学療法地域合実習 I 理学療法地域合実習 理学療法 理学療法とで 理学を 変子を 理学を 変子を の の の の の の の の の の の の の					
專	教授	宮 (63) <令は (63) 「一次IPE演列 (64) 「一次IPE (6					
専	教授	管原 仁 (57) <令和7年4月> 博士 (医学) 理学療法管理学 物理療法学 物理療法学実習 筋骨格系リハビリテーション ヘルスプロモーション 理学療法総合演習 理学療法セミナー 卒業研究					

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等						
		担当授業科目名						
嵌	教授	大重 医 (66) < 令66) < 令18年4月> 博士 (医学) 生理機能評価学実習 呼吸器理学療法学 循環器理学療法学 作謝理学療法学 作謝理学療法 第 I 取						
一	教授	宮 (63)						
専	教授	管原 仁 (57) <令和7年4月> 博士(医学) 理学療法管理学 物理療法学 物理療法学 物理療法学実習 筋骨格系リハビリテーション ヘルスプロモーション 理学療法総合演習 理学療法セミナー 卒業研究						

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等						
		担当授業科目名						
	教授	椛 秀人 (73) <令和6年4月> 保健学博士 医学博士 農学博士						
専		生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学Ⅲ 生理学演習Ⅱ 生理理学演習Ⅱ 応用解リハビック 国際リング 国際リング 国際が療法セリー 事務法セ 理学療法・ 理学療法・ 理学療法・ 理学療法・ 理学療法・ 理学療法・ で 業療法・ で 作業療法・ で 作業療法・ で 作業療法・ で 作業療法・ で 作業療法・ で 作業療法・ で 作業・ で 作業・ で た た た た た た た た た た た た た た た た た た						
		玉垣 務 (65) <令和8年4月> 修士(学術)						
專	教授	国際原 明学 明学 明学 明学 所 明学 所 明学 所 明学 所 明学 所 明学 所 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明						

	_	
専任 兼担 兼任 の別		氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		椛 秀人 (73) <令和6年4月> 保健学博士 医学博士 農学博士
専	教授	生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学Ⅲ 生理学演習Ⅱ た用解剖生理学 国際リハビリテーション学 理学療法を言サー 理学療法セミナー 卒業研究(理学療法専攻) 作業療法セミナー 作業療法セミナー 作業療法の変活 を業研究(作業療法専攻)
		玉垣 務 (65) <令和8年4月> 修士(学術)
專	教授	国際リテン学 事際リテン学 事に 事に 事に 事に 事に 事に 事に 事に 事に 事に

専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名				
専	教授	石附 (58) (58) (58) (58) (58) (58) (58) (10) (
專	教授	知(54) マ(54) マ(54) マ(54) マ(54) マ(54) マ(54) マ(54) マ(54) マ(54) マ(54) マ(54) マ(54) マ(54) マ(54) マ(54) マ(54) マ(54) ディン ア(7) ア(7) で(7)				

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等					
		担当授業科目名					
専	教授	石附 (58) 「(58) 「(58) 「(58) 「(58) 「(58) 「(58) 「(58) 「(58) 「(58) 「(58) 「(58) 「(58) 「(7年4月〉 「(年度) 「(年度) 「(東荷) 「(東荷)					
専	教授	畑田 早苗 (54) <令年4月> (54) <令年4月> (54) <令年4月> (7) 「ラー (7) 「ラー (7) 「アラシー (7) 「アラン (7) 「アラン (7) 「アラ					

専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 ————————————————————————————————————					
專	准教授	宮本 (52) (52) (52) (52) (52) (52) (7) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7					
専	准教授	工 (49) (49) (49) (49) (49) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1					

専任・		
兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准授	常年 (53)
専	准教授	岡(49) (49

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) (末 齢) (末 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一						
		15日1文米符日石						
専	准教授	奥田 (41) 奥田 (41) 今 (41) 今 (41) 令 (41) 令 (41) 令 (41) 今 (41) 今 (41) 一 (41) 今 (41) 一 (41)						
專	准教授	片(52) く(52) く(52) く(52) く(52) へ(52) へ(52) へ(52) へ(6) イ(7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7)						

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等						
		担当授業科目名						
專	准教授	奥田 孝宏 (42) <令年4月 中元 中元 中元 中元 中元 中元 中元 中元						
様 グぼ管教評作作支演演体臨臨臨地総研 の が が が が が が が が が が が が が か か か か か か		片岡 (52) <令和 6 年 4 月 > (6 年 4 月 > 修士 (保健学) 「ライン (保健学) 「ライン (保健学) 「ライン (保健学) 「ライン (保健学) 「ライン (保健学) 「ライン (保健学) 「アララン (保護学) 「アラフン (保護学) 「アラ						

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
		新野 豊 (48) <令和6年4月> 修士(医科学) ラーニングリテラシー 初年次IPE演習 生理学演習 I			新野 豊 (48) <令和6年4月> 修士(医科学) ラーニングリテラシー 初年次IPE演習 生理学演習 I
専	講師	生理学演習Ⅱ 身体運動学Ⅱ 作業療法評価学 神経機能で支援習 神経機能で支援習 Ⅱ 中経機能で支援習 Ⅱ 中経機能達支習 Ⅱ 中に表現で に大技能には に大技能には に大技能には に大技能には に大技能には に大技能には に大技能に に大きに に大きに に大きに に大きに に大きに に大きに に、は に、は に、は に、は に、は に、は に、は に、	嵌	講師	生理学演習Ⅱ 身体運動学Ⅱ 作業療法評価学 神経機能に大護子 神経機能に大護子 神経機能に大護子 神経機能を表達する 原法 に床技能演習Ⅱ 早期度 生業療法 には には には には には には には には には には
専	講師		専	講師	萩(44) <(44) <(44) <(44) <(44) <(44) <(44) <(44) <(44) <(44) <(44) <(44) <(44) <(44) <(44) <(44) <(44) <(44) <(44) <(44) <(44) <(44) 〇(14) 「河選 I 里 三次ア演習 I 習 学・ 一名理学演習学学・ 一名理学学学学・ 一名理学学学学・ 一名理学学学学学・ 一名理学学学学学、 一名表表表表表表表表表。 一名表表表表。 「一名。 「一。 「一名。 「一名。 「一名。 「一名。 「一。 「一名。 「一名。 「一名。 「一名。 「一名。 「一。 「一。 「一。 「一。 「一。 「一。 「一。 「一

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	近(36) (36) (36) (36) (4) (4) (5) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (8) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	専	助教	近(36) <(36) <(36) <(36) <(36) <(4 年) 和(5 年 4 早) 「一和 (5) 「一部 (5) 「一部 (5)) 「一部 (5) 「一部
専	助教	渡 (34) (34) (34) (34) (34) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	峥	助教	渡。(34) 令(34) 令(34) 令(4) 令(4) (5) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7

+ 1-		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専	助教	性(35) (35) (35) (35) (35) (4) (35) (4) (4) (4) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (8) (9) (9) (9) (1) (1) (1) (1) (2) (35) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7
兼任	講師	稲富 惇一 (35) <令和6年4月> 修士(医科学) 情報リテラシー 骨学筋学Ⅱ 骨学筋学Ⅱ 福祉住環境論 高次脳機能作業療法学 発達過程作業療法学 発達のロサイエンス
兼任	講師	安岡 希和 (34) <令和6年4月> 学士(作業療法学) 情報リテラシー 基礎作業学 作業療法評価学実習 身体機能作業療法学 上活行為向上マネジメント演習 がんリハビリテーション

専任・		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	桂 (35)
兼任	講師	稲富 惇一 (35) <令和6年4月> 博士(医学) 情報リテラシー 骨学筋学Ⅱ 基礎作業学 身体機能評価学実習 作業療法評価学実習 作業療法評価学実習 身体機能作業療法学 生活行為能作業療法学実習 福祉住環境論 高次脳機能作業療法学 発達過程作業療法学 発達過一口サイエンス
兼任	講師	 マ岡 希和 (34) <令和6年4月> 学士(作業療法学) 情報リテラシー 内部機能作業療法学 がんリハビリテーション

職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
	担当技术行口石
講師	李 賢珠 (50) <令和6年4月> 博士(文化人類学) 人間科学概論 医療人類学 コミュニケーション英語
講師	繁枡 博昭 (51) <令和6年10月> 博士(心理学) 心理学 脳科学概論
講師	岩佐 広光 (45) <令和 6 年 4 月> 博士(学術) 生命倫理学
講師	秋谷 公博 (47) <令和6年4月> 博士(国際地域学) 社会学概論
講師	兵頭 勇己 (37) <令和6年10月> 博士(医学) 情報と社会 データサイエンス
	. 講 講 講 講 師 師 師 師

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	李 賢珠 (50) <令和6年4月> 博士(文化人類学) 人間科学概論 医療人類学 コミュニケーション英語
兼任	講師	繁枡 博昭 (51) <令和6年10月> 博士(心理学) 心理学 脳科学概論
兼任	講師	島根 大輔 (31) <令和6年10月> 博士(心理学) 心理学
兼任	講師	伊崎 翼 (34) <令和6年10月> 博士(学術) 心理学
兼任	講師	岩佐 広光 (46) <令和6年4月> 博士(学術) 生命倫理学
兼任	講師	秋谷 公博 (47) <令和6年4月> 博士(国際地域学) 社会学概論
兼任	講師	兵頭 勇己 (37) <令和6年10月> 博士(医学) 情報と社会 データサイエンス

専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	根岸 忠 (47) <令和6年10月> 修士(法学) 法律と社会
兼任	講師	石山 貴章 (60) <令和6年10月> 博士(社会福祉学) 教育と社会
兼任	講師	原 忠 (49) <令和6年4月> 博士(工学) 災害と共に生きる
兼任	講師	大迫 洋治 (51) <令和 6 年 4 月> 博士 (獣医学) ライフサイエンス生物学 <u>解剖学 I</u> <u>解剖学 I</u> 組織学 痛みのサイエンス
兼任	講師	筒井 典子 (64) <令和6年4月> 修士(学術) コミュニケーション論
兼任	講師	中村 覚 (46) <令和 6 年 4 月> 高等学校卒 コミュニケーション論
兼任	講師	福江 満子 (76) <令和6年10月> 修士(教育学) コミュニケーション英語

専任・ 兼担・ か別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岡崎 桂禎 (55) <令和6年10月> 学士(教育学) 異文化コミュニケーション (中国語)
兼任	講師	神家 一成 (71) <令和6年4月> 体育学士 スポーツ実践
兼任	講師	井上 佳和 (56) <令和6年4月> 修士(教育学) <u>身体運動学工</u> 身 <u>体運動学工</u> リハビリテーション医学 福祉住環境論 日常生活活動学 日常生活活動学実習
兼任	講師	宅間 豊 (63) <令和6年4月> 博士(保健学) 運動生理学 整形外科学 リハビリテーション概論 呼吸器理学療法学
兼任	講師	髙橋 保 (73) <令和6年10月> 学士(保健衛生学) 病理学
兼任	講師	大西 広志 (55) <令和7年4月> 博士(医学) 内科学

	_	
専任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	岡崎 桂禎 (55) <令和6年10月> 学士(教育学) 異文化コミュニケーション (中国語)
兼任	講師	神家 一成 (71) <令和6年4月> 体育学士 スポーツ実践
		スホーク夫氏
兼任	講師	#上 佳和 (56) <令和6年4月> 修士(教育学) <u>身体運動学 I</u> <u>身体運動学 I</u> リハビリテーション医学 福祉住環境論 日常生活活動学 日常生活活動学実習
兼任	講師	宅間 豊 (63) <令和6年4月> 博士(保健学) 運動生理学 整形外科学 リハビリテーション概論 呼吸器理学療法学
兼任	講師	髙橋 保 (73) <令和6年10月> 学士(保健衛生学) 病理学
兼任	講師	大西 広志 (55) <令和7年4月> 博士(医学) 内科学

専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
		担当技术符合有
兼任	講師	船越 生吾 (48) <令和7年4月> 博士(医学) 内科学
兼任	講師	岩﨑 信二 (64) <令和7年4月> 医学博士 内科学
兼任	講師	大崎 康史 (61) <令和7年10月> 博士(医学) 神経内科学
兼任	講師	池内 昌彦 (54) 〈令和7年4月〉 博士(医学) 整形外科学
兼任	講師	戎 正司 (67) <令和7年4月> 医学士 精神医学
兼任	講師	藤田 博一 (53) <令和7年4月> 博士(医学) 精神医学
兼任	講師	玉元 徹 (58) <令和7年4月> 医学博士 精神医学

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
		担当技术符目有
兼任	講師	船越 生吾 (48) <令和7年4月> 博士(医学) 内科学
兼任	講師	岩﨑 信二 (64) <令和7年4月> 医学博士 内科学
兼任	講師	大崎 康史 (61) <令和7年10月> 博士(医学) 神経内科学
兼任	講師	池内 昌彦 (54) <令和7年4月> 博士(医学) 整形外科学
兼任	講師	戎 正司 (67) <令和7年4月> 医学士 精神医学
兼任	講師	藤田 博一 (53) <令和7年4月> 博士(医学) 精神医学
兼任	講師	玉元 徹 (59) <令和7年4月> 医学博士 精神医学

専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
		三
兼任	講師	上村 直人 (56) <令和7年4月> 医学博士 精神医学
兼任	講師	島﨑 洋成 (63) <令和7年10月> 医学博士 小児科学
		3514 1
兼任	講師	鹿間 淳史 (49) <令和7年10月> 修士(児童学) 臨床心理学
兼任	講師	大坪 豊寿 (63) <令和8年4月> 准学士 臨床栄養学
兼任	講師	長崎 大武 (45) <令和8年4月> 学士(薬学) 臨床薬理学
兼任	講師	武田 陽平 (43) <令和8年10月> 専修学校卒 救命救急処置演習
兼任	講師	稲垣 佳代 (42) <令和7年10月> 修士(社会福祉学) 社会福祉学概論

専任・ 兼担・ か別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	上村 直人 (56) <令和7年4月> 医学博士 精神医学
		5 to 14 4
兼任	講師	島﨑 洋成 (63) <令和7年10月> 医学博士
		小児科学
兼任	講師	鹿間 淳史 (49) <令和7年10月> 修士(児童学)
		臨床心理学
兼任	講師	大坪 豊寿 (63) <令和8年4月> 准学士 臨床栄養学
		- I+ I - I
兼任	講師	長﨑 大武 (45) <令和8年4月> 学士(薬学) 臨床薬理学
		咖外未生于
兼任	講師	武田 陽平 (43) <令和8年10月> 専修学校卒 救命救急処置演習
兼任	講師	稲垣 佳代 (42) <令和7年10月> 修士(社会福祉学) 社会福祉学概論

専任・ 兼担・ 兼日 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	森下 誠也 (48) <令和8年10月> 修士(医科学) 災害リハビリテーション
		淡野 義長
兼任	講師	次却 (61) <令和8年10月> 専修学校卒 災害リハビリテーション
兼任	講師	細田 里南 (51) <令和8年10月> 修士(学術) 小児理学療法学
		滝本 幸治
兼任	講師	(48) <令和7年10月> 博士(医学) 地域リハビリテーション学
		吉良 健司
兼任	講師	日及 (選用 (56) <令和8年10月> 修士(リハビリテーション学) 地域理学療法学
—		 橋本 貴紘
兼任	講師	(37) (37) (令和8年10月> 専修学校卒 高度専門士 地域理学療法学
兼任	講師	西邨 出 (53) <令和7年4月> 学士(法学) 基礎作業学実習

専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	森下 誠也 (48) <令和8年10月> 修士(医科学) 災害リハビリテーション
兼任	講師	淡野 義長 (61) <令和8年10月> 専修学校卒 災害リハビリテーション
兼任	講師	細田 里南 (51) <令和8年10月> 修士(学術) 小児理学療法学
兼任	講師	滝本 幸治 (48) <令和7年10月> 博士(医学) 地域リハビリテーション学
兼任	講師	吉良 健司 (56) <令和8年10月> 修士(リハビリテーション学) 地域理学療法学
兼任	講師	橋本 貴紘 (37) <令和8年10月> 専修学校卒 高度専門士 地域理学療法学
兼任	講師	西邨 出 (53) <令和7年4月> 学士(法学) 基礎作業学実習

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	石井 誠二 (48) <令和8年4月> 博士(医学) 義肢装具学
兼任	講師	佐藤 孝臣 (57) <令和8年10月> 専修学校卒 地域作業療法学
兼任	講師	宮崎 宏興 (53) <令和8年10月> 専修学校卒 地域作業療法学
兼任	講師	加賀野井 博美 (58) <令和8年4月> 専修学校卒 理学療法特論 I
兼任	講師	大畑 剛 (58) <令和9年4月> 専修学校卒 理学療法特論 II
兼任	講師	田中 健太郎 (49) <令和 9 年 4 月> 専修学校卒 理学療法特論 II
兼任	講師	山本 伸一 (61) <令和8年4月> 専修学校卒 作業療法特論 I

専任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	石井 誠二 (48) <令和8年4月> 博士(医学) 義肢装具学
兼任	講師	佐藤 孝臣 (57) <令和8年10月> 専修学校卒 地域作業療法学
兼任	講師	宮崎 宏興 (54) <令和8年10月> 専修学校卒 地域作業療法学
兼任	講師	加賀野井 博美 (58) <令和8年4月> 専修学校卒 理学療法特論 I
兼任	講師	大畑 剛 (58) <令和9年4月> 専修学校卒 理学療法特論 II
兼任	講師	田中 健太郎 (49) <令和9年4月> 専修学校卒 理学療法特論 II
兼任	講師	山本 伸一 (61) <令和8年4月> 専修学校卒 作業療法特論 I

専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	柏原 謙造 (45) <令和8年4月> 専修学校卒 作業療法特論 I
兼任	講師	二神 雅一 (61) <令和9年4月> 専修学校卒 作業療法特論Ⅱ
兼任	講師	鶴見 隆彦 (69) <令和9年4月> 修士(保健学) 作業療法特論 II

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	柏原 謙造 (45) <令和8年4月> 専修学校卒 作業療法特論 I
兼任	講師	二神 雅一 (61) <令和9年4月> 専修学校卒 作業療法特論Ⅱ
兼任	講師	鶴見 隆彦 (69) <令和9年4月> 修士(保健学) 作業療法特論 II

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)(その2の2)(その2の3)に 準じて作成してください。

なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認して ください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(基幹教員(大学院の研究科 又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)

(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼担教員)を含む。)を黒字で記入してください。 その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の** 赤字としてください。

- 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
- ・ 記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の (改正後大学設置基準等の適用以前は「専任等区分」)の順に記入してください。
- ・ 改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以降については、主要授業科目に
- · 教員がサバティカル等で不在の期間がある場合、その期間(年月日)を上段「学位」の下
- ・不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科に、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

教 員 就 任 承 諾 書

令和 6 年 3 月 21 日

学校法人 土佐リハ学院 理事長 大 﨑 博 澄

氏名 稲富 惇一

私は、高知健康科学大学 健康科学部リハビリテーション学科の兼任の教員として、 令和6年4月1日から就任し、下記の科目を担当することを承諾します。

記

- •情報リテラシー
- 骨学筋学 I
- · 骨学筋学Ⅱ
- 基礎作業学
- 身体機能評価学実習
- 作業療法評価学演習
- ·身体機能作業療法学Ⅱ
- ・生活行為向上マネジメント演習
- 福祉住環境論
- 身体機能作業療法学実習
- 高次脳機能作業療法学
- 発達過程作業療法学演習
- ・ニューロサイエンス

以上

教 員 就 任 承 諾 書

令和 6年 3月 24日

学校法人 土佐リハ学院 理事長 大 﨑 博 澄

氏名 安岡 希和

私は、高知健康科学大学 健康科学部 リハビリテーション学科の兼任の教員として、 令和6年4月1日から就任し、下記の科目を担当することを承諾します。

記

- 情報リテラシー
- 内部機能作業療法学
- ・がんリハビリテーション

以上

【令和5年度】

・特になし。			

【令和6年度】

【 〒 和 0 平 度 】

 ・安岡 希和 (兼任講師) が家庭の事情により、以下の授業科目を辞退。
① 基礎作業学 ②作業療法評価学実習 ③身体機能作業療法学Ⅱ ④生活行為向上マネジメント演習

 ・稲富 惇一 (兼任講師) が、以下の授業科目 (上記安岡講師分を含む) を追加。
① 基礎作業学 ②作業療法評価学実習 ③身体機能作業療法学Ⅱ ④生活行為向上マネジメント演習 ⑤身体機能評価学実習 ⑥身体機能作業療法学実習
 ・島根 大輔 (兼任講師) が、以下の授業科目を追加。
① 心理学 (教養基礎科目)

 ・伊崎 翼 (兼任講師) が、以下の授業科目を追加。
① 心理学 (教養基礎科目)

- (注)・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の基幹(専任)教員を変更する場合**は、当該基幹(専任)教員が授業を開始する前に必ず「基幹(専任)教員採用等設置計画変更書」を提出し、 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査 (AC教員審査) を受けてください。

原則としてAC教員書査を受けずに基幹(専任)教員として授業等を担当することは出来ません。

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した 「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、AC教員審査を受審する必要はない扱いとしています。(改正後大学設置基準等の適用にあたり、 「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、AC教員審査の受審を求めていた事由が発生する場合は、

- A C教員審査を受審する必要があります。) · A C 教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。

- (2) 基幹教員数等
- (注)・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項(短期大学設置基準第三条の二)に基づく 「連係協力学部等(連係協力学科)」の基幹教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-② 基幹教員等数【大学】」を 連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。
 - (2) 一① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における 設置基準上の必要基 幹教員数 (α)	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	うち、完成年度時における 設置基準上の専ら当該学部 等の教員研究に従事する必 要基幹教員数 ((α) の 4 分の 3 以上)
20	10	20
名	名	名

- (注)・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
 - ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、 高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。
 - (2) −② 基幹教員等数【大学・高専】

			設置時の記	画			現在(報告時)の状況								
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 (「基(主事)」及び 「基(事)」の計) (A")	助手 (A')	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 (「基(主事)」及び 「基(事)」の計) (B")	助手 (B')		
11	4	2	3	20 20		0	7	4	2	3	16	16	_		
(7)	(4)	(2)	(3)	(16)	(16)	(0)									
		現在(報告	時)の完成	戈年度時の	状況		現在(報告時)の完成年度時の計画								
教 授	准教授	講師	助教(C)		うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 (「基(主専)」及び 「基(事)」の計) (C')		教 授	准教授	講師	助教	計 (D)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 (「基(主事)」及び 「基(事)」の計) (D")	助手 (D')		
11	4	2	3	20	20	0	11	4	2	3	20	20	0		
[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。

 - 高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主尊)」及び「基(専)」の計)」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の場合、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者(「基一」及び「基専」の計」)」として記入してください。なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和 4 年10月 1 日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画(改正前大学設置基準等)」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。また、「計(A)」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主尊)」及び「基(専)」の計)(A^{*})」欄には「一」を記入してください。
 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月 1 日の教員数(実人数)を記入してください。

 - 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、数員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する数員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、
 - **聚員書金を学書がであり、示成年度までに駆任する要員要を加えた要素、届出で設置された子部等の場合は、**「現在(報告時)の状況」に配入した数字に、完成年度までに就任することが決定している数員数を加えた数を配入</u>するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
 ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

 - (2) ③ 年齢構成

I		年齢構成				
	定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数			
	65	1	1			
	歳	名	名			

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、

 - 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。 なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、 「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】 現在(報告時)の完成年度時の状況(C) = 20 設置時の計画(A) 20 100 【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】 現在(報告時)の完成年度時の状況(C") = 20 設置時の計画(A") = 20 100

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 現在(報告時)の状況(B)	= 16 =	6.25	%
---	--------	------	---

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C')	 0 .		_	٦,	04
設置時の計画(A')	 0	⁻∟_		J.	70

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- (3) 基幹(専任)教員辞任等の理由
 - (3) 一① 基幹(専任)教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	基幹	(専任)教	員氏名	時期	必修・選択・自由	BON IRON	担当予定科目	後	後任補充状況				就任辞退(未就任)の理由						
									_		_	_											
	1	-			-	-		_	_		_			_		_							
合計 (D)												後任補充状況の集計(E)											
	京	尤任を	·辞	退し	た教	員数	ţ	担当科	目数の合詞	† (a)	+ (b) + (c)	①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計数 (c)						
							必	修	0	科目	必修	Ī	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目			
							選択		0	科目	選択		0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目			
	0		0 人		人	自	由	0	科目	自由		0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目				
						100	†	0	科目	計		0	科目	計	0	科目	計	0	科目				

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹(専任)教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②基幹(専任)教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹(専任)教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・基幹(専任)教員が担当する(している)場合は「①」 ・基幹(専任)教員以外の教員(兼任兼担教員)が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

 - (3) -② 基幹(専任)教員辞任の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	基幹	(専任)	教員氏名	時期	必修・選択・自由	自の別	担当予定科目	後任	後任補充状況辞任等の理由								
								_		_		_								
	1	-	-		-		_	_		_		_		_						
								_		_		_								
	合計 (F)												後任補充状況の集計(G)							
		辞	任し	した教	女員数		担当科	目数の合言	† (a) -	(b) + (c)	①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計数 (c))				
							必	修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
	0					選	選択		科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目		
			0 ,		人	自	由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目		
							1	it	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹(専任)教員**について、記入してください。
 - (学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。) ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹(専任)教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、
 - 「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・基幹(専任)教員が担当する(している)場合は「①」 ・基幹(専任)教員以外の教員(兼任兼担教員)が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
 - (3) -3 上記(3) -1 ・ (3) -2 の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)					①の合計数 (a) ②の合計		十数 (b)	③の合計数 (c)		
		必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
0	Α	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F)	_	0	_	0	0.4
(2)-②設置時の計画(A)	_	20	1 -	U	70

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (3) 一⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した基幹(専任)教員等の状況

0

- (注)・(3) -①、(3) -②で赤字で記載した基幹(専任)教員数の合計数を記載してください。
 - ・令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した基幹(専任)教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹((専任) 教員氏名	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	後任補充	状況	辞任等の理由							
				_			_									
1	_	_	_	_		_	_		_							
				_		_	_									
	合計					後任補充状況の集計										
	辞任した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)				①の合計	十数 (a)	a) ②の合計数 (b) ③の合計数 (c))					
				必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
					選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
0		0 人		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
				計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	

- (注) · 定年により退職した全ての基幹(専任)数量について、記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹(専任)教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・基幹(専任)教員が担当する(している)場合は「①」 ・基幹(専任)教員以外の教員(兼任兼担教員)が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 基幹(専任)教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和6年5月末時点においては、辞任した基幹教員はいないが、今後のそのような事態を想定して基幹教員交代に係る「大学の所見」及び 「学生への周知方法」を記載する。止むを得ない理由による基幹教員交代に関しては、如何ともし難いが、そのような事態が起きた場合 の学生の履修等への影響を最小限に押さえるべく、事前通告の猶予期間を長くすることの対策を検討する。また、学生の周知方法に関し ては、学生の不利益にならないように遅滞なく、学内の学生の周知手段(クラスルーム)により行う。

(注)・ 上記(3)の基幹(専任)教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附帯事項等	履行状況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和6年)	・設置の趣旨・目的等が生か されるよう、設置計画を確実 に履行すること。また、開設 時から4年制大学にふさわし い教育研究活動を行うことは もとより、その水準を一層向 上させるよう努めること。 遵守事項	設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を履行している。施設・設備等に関しては、令和6年度中の図書館棟・研究棟の竣工の為、現在工事が進められている。また、改修工事に関しても、計画通りに進められている。教育備品等の整備に関しても、令和7年度末までの計画を履行中である。4年生大学にふさわしい教育研究活動を飛躍させていく為に、FD/SD委員会を設置することによる教職員の水準向上及び研究助成制度の構築による研究活動の推進を推し進めている。(6)	・FD/SD活動の推進 ・研究成果等のHPでの公表(6)
認可時(令和6年)	・教科目にない。 ・教科目にいる教育を関係を ・教科目にいる教育を のので、表示を のので、表示を のので、表示を り、位置を のので、表示を り、位置を のので、表示を のので、表示を のので、表示を のので、表示を ののので、表示を ののので、表示を ののので、表示を ののので、表示を ののので、表示を ののので、表示を ののので、表示を ののので、表示を ののので、表示を ののので、表示を ののので、表示を ののので、表示を ののので、表示を ののので、表示を ののので、表示を ののので、表示を ののので、表示を ののので、表示で、表示で、表示で、表示で、表示で、表示で、表示で、表示で、表示で、表示	ご指摘の「早期臨床体験実習」に関して、事務的見抜かりが原因である。同授業科目の教員配置を明らかにした上で、当該授業科目を担当する基幹教員の教員資格審査を受審する。(6)	令和6年6月のAC教員審査の判定を受けるべく、書類を申請中。(6)
認可時(令和6年)	・教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施における収容定員に見合った学生の確保に教的ること。また、入学育の状況に応じた収容正の検の状況に応じた収容所の状況に応じて東側の対象を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。	設置計画における収容定員に見合った学生確保の為、アドミッション・ポリシーを踏まえた上で、より多くの多様な入学者に対して選抜機会を設けるように計画している。また、入学者数の状況に応じた収容定員の適切な規模については、常に念頭に置いた上で検討を続けていく。(6)	令和7年度入学者選抜において、以下の選抜機会を設ける。 ・総合型選抜試験 (A・B日程)・社会人選抜試験 ・「共通テスト利用」制度を利用した一般入学者選抜 (A・B日程)・「共通テスト利用」制度のみを利用した一般入学者選抜 (C日程)
認可時(令和6年)	・完成年度前に、定年規程に 定める退職年齢を超える基幹 教員数の割合が高いことか ら、定年規程の趣旨を踏まえ た適切な運用に努めるとも に、教育研究実施組織におけ る教員編制の呼来構想につい 者実に実施すること。	・本学就業規則の定年年齢は65歳をもって迎える年度末である。65歳の定年後においても 任期付き教員としての雇用制度を設けており、70歳までの退職後再任用を想定している。完成年度である令和9(2027)年度までに、上記に該当する基幹教員は2人存在する。後任者には、前任者の内容と比較し、同等以上の水準を確保するうえで、若い教員及び女性教員の確保を意識的に進め、優れた教育研究業績を有する教員を公募する。(6)	完成年度をもって退職が予定される基礎医学 系教授の後任には、同様の基礎医学系教員 (解剖学もしくは生理学教授)、基礎理学療 法学分野の教授の後任には、心理精神系作業 療法学分野の教員の公募を計画している。 (6)
認可時(令和6年)	・監事監査において教学監査 を実施していないことから、 今後の監査に関する計画(監 査項目及び実施体制等)を改 めること。	令和6年度内部監査計画において、監査基本 方針及び監査実施計画の策定を行ない、今 後、リスク抽出の後、具体的な監査実施計画 書を各部署に通知を行う。(6) 履行中	教学監査は8月に実施予定で、10月に報告書を提出する計画である。(6)
認可時(令和6年)	・理事長を始めとする学校法 人を構成する一人一人が、四 年制大学の設置に係る計画へ の共通理解を持ち、ガバナン ス機能の強化等、果たすべき 役割を十分に認識した上で、 適切に連携をしながら当該計 画を履行すること。	四年制大学の設置に係る計画への共通理解・ ガバナンス機能の強化等を図る上で、年4回 の理事会はもとより、相互の情報共有を密接 に図る。(6) 履行中	令和6年度定例理事会開催予定日は以下の通 りである。 第1回:5月24日 第2回:8月23日 第3回:11月22日 第4回:令和7年3月28日 (6)

区分	附帯事項等	履行状況	今後の の実施計画
認可時(令和6年)	・新たに設置する内部監査組 織等において、計画のとおり に内部監査を実施するととも に、監事監査の支援の充実を 図ること。 【認可】 助言事項	令和6年度内部監査計画において、監査基本 方針及び監査実施計画の策定を行ない、今 後、リスク抽出の後、具体的な監査実施計画 書を各部署に通知を行う。(6) 履行中	帝和6年度内部監査の監査項目(監査対象部署)、実施期間は以下の通りである。 ①中長期間はは入)、3月 ②教員研究費執行状況(大学・専門学校)、1月 ③予算の執行状況(法人・大学・専門学校)、1 月 ④業務執行状況(法人・大学・専門学校)、1月 (6)
認 可 時 (令和6年)	・長期的かつちため、一条期的かつちため、一条期的な学生ので安定的が新設であるため、一条では、一条では、一条では、一条では、一条では、一条では、一条では、一条では	長期的かつ安定的な学生の確保に資する為、本学が設置する学科の専門職における社会的ンポーズの広がりを広報すると共に、ブラン戦略等も交えた学生募集活動に取り組む。また、理事会・大学運営会議等で学生確保の状況を踏まえ、法人運営や教育研究等に与えるリスクアセスメントを行なう。その結果を踏まえ、機動的に行う為に各種委員会それぞれが有効的に活動する体制を構築する。(6)	各種会議・委員会の開催頻度等を示す。 ①学長室会議(回/隔週) ②大学運営会議(回/月) ③教授会(回/月) ④広報委員会(回/月) (6)

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。</u>)と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、 以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)(6)」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、<u>**当該大学に付された指摘を</u></u>**

全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。 その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<健康科学部 リハビリテーション学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 入試区分と募集人数 ※()内は募集人数を示す。 ・指定校型推薦選抜試験(12) ・公募型推薦選抜試験(5) ・一般入学者選抜試験AP程(15) ・一般入学者選抜試験BP程(3) 入学定員:35名	① 多様な能力を持つ学生に、より多様な選抜試験の機会を増やす為。 ・総合型選抜試験(A・B日程)(10) ・指定校型推薦選抜試験(12) ・公募型推薦選抜試験(5) ・社会人選抜試験(若干名) ・一般入学者選抜試験A日程(共通テスト利用含)(5) ・一般入学者選抜試験B日程(共通テスト利用含)(3) ・一般入学者選抜試験C日程(共通テスト利用のみ)(若干名) 入学定員:35名

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 - (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)
- ① 実施体制
- a 委員会の設置状況

FD/SD委員会を令和6年5月に設置。(委員会構成員8名)

- b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)
 - 第1回委員会:令和6年5月30日予定(委員会構成員8名)
- c 委員会の審議事項等
 - 今後のFDSD研修の方向性・四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (SPOD) との連携
- ② 実施状況
 - a 実施内容
 - ・ 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (SPOD) の教職員の能力開発 (FD・SD) のプログラムに参加。
 - ① 令和6年度大学人・社会人としての基礎力養成プログラム
 - ② 事例から考えるハラスメント
 - ③ 高知刑務所見学(司法関連)
 - ④ 「オンラインツールを活用した双方向型授業」
 - ⑤ 「収集された学生データの活用方法-教学IRに向けて」
 - ⑥ 「授業とAIの幸福な関係を考える」
 - b 実施方法
 - ① 対面方式でセミナー参加
 - ② 対面方式でセミナー参加
 - ③ 対面方式で見学参加
 - ④ オンライン方式
 - ⑤ オンライン方式
 - ⑥ オンライン方式
 - c 開催状況(教員の参加状況含む)
 - ① 令和6年5月15日・16日・17日:2名参加
 - ② 令和6年5月30日:全教職員対象
 - ③ 令和6年6月18日:全教職員対象(数回に分けて参加予定)
 - ④ 令和6年5月9・16日:全教職員対象
 - ⑤ 令和6年6月13・20日:全教職員対象
 - ⑥ 令和6年7月11・18日:全教職員
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 現行なし。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

無:今後、前期(7・8月)・後期(1・2月)に実施予定。

- b 教員や学生への公開状況、方法等
 - HPを通して、公開する。
- 注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。 (記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

-4	117		
豚	当	Ti	١.

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学では教育研究の質的向上を図り、学生のより良い学習環境の確保・職員の働きやすい職場環境の実現・自らその内容を点検し、改善していくことを目的に令和6年5月に自己点検評価委員会(構成員:7名)を設置予定。点検評価は、PDCAサイクルに沿って実施予定で大学外部評価委員会からの指摘事項についても改善策を協議する。令和6年4月開学ということもあり、令和6年5月末時点においては、自己点検・評価の計画作成段階であり、未実施である。計画としては以下の項目について、自己点検・評価を行う予定である。())内は実施月を示す。

- ① 教育課程のシラバスに準拠した実施状況(8月)
- ② 国家試験対策とその結果(10月・3月)
- ③ 就職状況の把握と支援状況 (毎月)
- ④ 学生募集活動の適切さと費用効果 (毎月)
- ⑤ 学生支援状況の検証(毎月)
- ⑥ 教員の研究成果および社会貢献活動の実績(8月)
- ⑦ 施設・整備の保安状況および更新の必要性(毎月)
- ⑧ 情報公開の内容および正確性と即時性(12月)
- ⑨ 財務状況の正確性(1月)
- ⑩ 職員管理・兼業状況、就労環境(12月)
- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表 (予定) 時期
 - ·令和7年5月1日 公表(予定)
 - b 公表方法
 - ・令和7年4月に学長・教授会に報告された自己点検・評価報告書を刊行し、事務局で常時閲覧できる体制を整備
 - ・自己点検・評価報告書を大学ホームページ上に公開予定(令和7年5月末を予定)
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・令和9年度(完成年度)以降に評価機関(公益社団法人日本高等教育評価機構)の評価を受けるべく、 学内で検討中
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

0	設置計画履行状況報告	書(令和 6 年度	<u>.</u>)				
á	a 公表予定の有無	ί	③		無)		
≪ a			調 <u>査結果が</u> ウェブサイ		_	公表後2~3ヶ月以内その他(公表後3ヶ月以降)]
≪ a	aで公表「無」の場合≫ H 公表しない理由	()

※設置計画が各大学等が社会に対して看実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、 設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

高知健康科学大学 FDSD 委員会 規程

(設置)

第1条 高知健康科学大学(以下「本学」)の教職員の資質の維持向上並びに教育の質の向上を図るため、FDSD委員会(以下「委員会」)を設置する。

(任務)

- 第2条 委員会は、授業内容・方法の改善を図るとともに、教員個々人の教育力・研究力の維持向上並びに教育の質の向上を図る。また、教職協働の観点に立って教員及び事務職員等についても大学運営に協働して業務に当たって行けるよう資質・能力及び意識の向上を図ることを目的とする。
- 2 以下の内容に関する教職員対する各種研修会、研究会の実施を行う
 - (1) 授業内容・方法の改善関する事項
 - (2) 研究活動の向上・推進に関する事項
 - (3) 教職員の能力開発推進に関する事項
 - (4)その他FDSD活動の推進に関する事項

(構成)

- 第3条 委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって構成する。
- 2 委員長は、学部長をもって充てる。
- 3 副委員長は、事務局長をもって充てる。
- 4 委員は、次に掲げる者をもって充てる。
- (1) 各専攻が推薦する専任の教授、准教授又は講師のうち各 1人
- (2) 事務局が推薦する教務担当者1名
- 5 委員長が認めるときは、構成員以外の者を出席させ、意見を聴取することができる。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。

(雑則)

第5条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は、委員長が定める。

附則

この規程は、令和6年4月1日より施行する。